



南越前町 議会だより

2024.11

Vol.49



地域がひとつに(湯尾地区)

Contents

- ② 9月定例会報告
- ③ 常任委員会報告・ペーパーレス会議システム
- ④ 9月定例会議決結果
- ⑤-⑦ 一般質問・10月臨時会報告
- ⑧-⑨ 行政視察報告・知事との意見交換会
- ⑩-⑪ 主な議会活動報告
- ⑫ あなたの番です・編集後記



ふるさとのそば畑

9月定例会

9月定例会は、9月6日から9月13日までの8日間の日程で開催されました。

本会議の開催

9月6日に開会し、令和6年度一般会計補正予算の専決処分の承認を求める1議案、令和6年度一般会計及び特別会計補正予算に関する8議案、令和5年度各会計歳入歳出決算認定及び水道事業会計決算認定に関する2議案、南越前町公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正など3議案の合計14議案を上程しました。

専決処分の承認を求める議案を原案のとおり承認し、その他の議案については関係する各常任委員会に審査を付託しました。

また報告事項として、令和5年度決算における健全化判断比率及び資金不足率についてなどの報告がありました。

一般質問の実施

9月9日の本会議では一般質問が行われ、議員4名が町政について町長の考えを質しました。

各常任委員会開催

9月10日、総務文教厚生常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

9月11日、産業建設常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

現地視察の実施

9月12日、議員全員で町内現地視察を行いました。南条小学校を



ICTを活用した授業の視察



給食の試食



改修工事が終了した南条地区公民館の視察

訪問し、4年生から6年生までのICT教育授業の視察をしました。また今年度4月から給食費が

無償化となりましたが、どのようなメニューが提供されているのか、試食も行いました。

さらにその後、改修工事が終了した南条地区公民館へ移動し、教育委員会事務局から館内の説明を受けました。

本会議の開催

9月13日の本会議では採決を行い、すでに承認された1議案を除く13議案のうち、11議案を原案のとおり可決しました。

また、工事請負契約の締結についてなど2議案が追加で上程され、原案のとおり可決しました。

加えて、令和5年度各会計歳入歳出決算認定及び水道事業会計決算認定の2議案を審査するため、議長と議員選出監査委員を除く10名の議員で構成する「決算特別委員会」を設置することしました。特別委員会の委員長に山本徹郎議員、副委員長に谷口善治議員を選出し、決算審査を付託して閉会中の継続審議としました。

常任委員会報告

▼総務文教常任委員会



委員長
山本徹郎

今期定例会において、総務文教厚生常任委員会に付託されました案件審査のため、9月10日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第78号「令和6年度南越前町一般会計補正予算（第6号）」のうち、本委員会に関わる事項から議案第83号「令和6年度南越前町介護保険特別会計補正予算（第1号）」までの、補正予算に関する6議案、次に、議案第88号「南越前町公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について」から議案第90号「南越前町国民健康保険条例の一部改正について」までの3議案について、関係理事者の出席を求めて所管ごとに慎重に審査をいたし

ました。

採決の結果、各議案につきましても、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

▼産業建設常任委員会



委員長
高橋宏介

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託されました案件審査のため、9月11日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第78号「令和6年度南越前町一般会計補正予算（第6号）」のうち、本委員会に関わる事項及びに、議案第84号「令和6年度南越前町水道事業会計補正予算（第1号）」並びに議案第85号「令和6年度南越前町下水道事業会計補正予算（第1号）」までの補正予算に関する3議案について、関係理事者の出席を求めて所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましても、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

ペーパーレス会議システム

各委員会から導入を開始

6月から実演説明会などを行っていたペーパーレス会議システム導入業務ですが、ついに運用開始となりました。

8月に利用者説明会、試用期間を経て、まずは9月の全員協議会、そして総務文教厚生・産業建設常



ペーパーレス化された全員協議会

任委員会から運用が開始され、問題なく委員会を実施することができました。この他にも監査委員による例月出納検査などでも活用が始まっており、今後は本会議でのペーパーレス化を目指していきます。

また災害などが起こった際にも、各議員が離れた場所でも、オンラインによる円滑な情報共有ができることが期待されます。



ペーパーレス会議システム「SideBooks」

【9月定例会議決結果】

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第 77 号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度南越前町一般会計補正予算(第5号))	令和6年9月 6日	原案承認
議案第 78 号	令和6年度南越前町一般会計補正予算(第6号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 79 号	令和6年度南越前町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 80 号	令和6年度南越前町国民健康保険今庄診療所特別会計 補正予算(第2号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 81 号	令和6年度南越前町河野診療所特別会計補正予算 (第3号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 82 号	令和6年度南越前町老人保健施設特別会計補正予算 (第3号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 83 号	令和6年度南越前町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 84 号	令和6年度南越前町水道事業会計補正予算(第1号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 85 号	令和6年度南越前町下水道事業会計補正予算(第1号)	令和6年9月13日	原案可決
議案第 86 号	令和5年度南越前町各会計歳入歳出決算認定について		継続審議
議案第 87 号	令和5年度南越前町水道事業会計決算認定について		継続審議
	決算特別委員会の設置	令和6年9月13日	原案可決
議案第 88 号	南越前町公民館の設置及び管理に関する条例の一部改 正について	令和6年9月13日	原案可決
議案第 89 号	南越前町南越前文化会館の設置及び管理に関する条例の 一部改正について	令和6年9月13日	原案可決
議案第 90 号	南越前町国民健康保険条例の一部改正について	令和6年9月13日	原案可決
議案第 91 号	工事請負契約の締結について	令和6年9月13日	原案可決
議案第 92 号	財産の取得について	令和6年9月13日	原案可決

一般質問



坪川 伸理

一、風力発電について

問 7月24日に県へ提出された意見書について伺う。総合意見は個別意見が十分に反映された意見には見えない。敦賀市長の意見書には「環境保全措置の検討を行った結果、本事業の実施により重大な環境影響等を回避できない場合、または十分な提言が出来ない場合は、事業の取りやめを含め、抜本的な事業計画の見直しを行うこと」との意見が見られる。60mのブレードを運ぶ為にどれだけ山肌を削るのか？ブレードの保水能力約8トンが無くなることで土砂災害が起きないと言えるのか？観光客にブレードが風を切る音、モーター音等影響ないと考えているのか？廃土全量を町外搬出するように求めないのか？町の姿勢を伺う。

答 町長（仮称） 鉢伏山風力発電事業については県からの意見照会に対し、町環境審議会からの答申を踏まえ、7月24日に本町の回答をしました。山肌を削ることや廃土の盛土、土砂災害への懸念については、土地改変や土捨場に関して安全性を確保することを前提に、可能な限り面積や土量を低減するように求めました。また令和4年8月の大雨による被災も踏まえ、事業

区域外への土砂搬出を検討し、最大限、区域内における盛土の量が減少するように求めました。騒音、振動、超低周波音については一定の基準を下回っていると予測されており、今後も事業者に対して最新の知見に基づく情報提供や必要な対策を講じるよう求めていきます。事業計画が町民の皆様の安全で安心した暮らしと共存できる内容であるか、慎重に見極めながら対応していきます。

一、第2次南越前町総合計画について

問 町長が副町長時に策定された第2次南越前町総合計画だが、本年度が最終年度となった。当初の思い通りに進捗していると捉えているのか伺う。また各項目の進捗状況及び達成率を伺う。

答 町長 第2次南越前町総合計画は6つの「まちづくり」を基本目標の柱に据えて、計画的にまちづくりを進めてきました。計画の達成状況は、重要政策についてはおおむね計画通りに進捗しているが、定住政策や子育て支援策などの人口減少対策については今後も強い危機感とスピード感を持って推進していきます。

答 観光まちづくり課長 この総合計画では平成27年度からの5年間を前期計画、令和2年度からの5年間を後期計画とし、160の成果指標に対し、それぞれ目標値を定めています。前期計画の目標値達成及びほぼ達成した割合は63%です。後期計画の令和6年3月までの達成率は、目標値達成及びほぼ達成した割合全体の平均で50%です。最終年度である今年度は、各目標の実現に向けた施策を進めていきます。



山本 優

一、文化会館の展示施設の改装について

問 現在、南条地区公民館と文化会館の改装が進められているが、その活用について伺う。町内で文化活動の絵画や彫刻など造形作品の展示場の充実は大変関心の深いところである。新しく改修する展示施設の規模、活用方法、使用料や使用のための注意点など、詳細な説明を伺う。

答 教育長 南条地区公民館の改修完成に伴い教育委員会事務局を文化会館から公民館に移転します。文化会館一階の事務所は改修後、絵画・造形作品などの展示施設とします。優れた作品が多くの方々の目に触れることにより、文化芸術に対する意識がより深まり、出展する方々の創作意欲の向上、創作グループの活性化、技法や熱意が未来に引き継がれることを期待いたします。文化芸術活動の充実発展を図ってまいります。文化会館の展示施設の使用料につきましては、文化会館内の会議室、研修室等と同等の設定にさせていただいております。

答 教育委員会事務局長 今回の改装では、外からの光を遮断し専用のボードに掲示した作

品にスポットライトを当てることで美術館に近い展示ができると考えています。今後、運用開始に向けて、町の文化協議会をはじめとする文化芸術団体に声かけを行うとともに、町のホームページ、広報紙、ケーブルテレビ等の媒体を活用して周知徹底を図っていきたいと思います。運用開始後も展示作品をケーブルテレビなどで紹介させていただきたいと考えております

問 町内には、独自に展示会場を持つ活動するグループもある。そのグループの独自性は大切にしながらも、公の施設を活用することの利点を示すことは、それぞれのグループの活性化のみならず、その活動を知らなかった人も含め、幅広い人に関心を持ってもらうことで、それらの団体の活性化にもつながると考える。そのようなグループの現状と活動について、どの程度把握しているか伺う。

答 教育委員会事務局 町内には優れた文化芸術作品を民家や店舗などを利用して展示し、一般に公開したり愛好者の中で観覧されていることは存じております。教育委員会事務局に案内状が届くこともあり、熱心な活動に対して改めて敬意を表するものでございます。

優れた文化芸術作品の展示を、公の施設を活用することでその活動を知らなかった人を含め、幅広い人に見て触ってもらうことが大事であるため、展示施設の整備を契機として、例えば隣接する道の駅での広報を通して来館者を呼び起こすなど、近隣施設との連携を図りたいと考えております。



高谷直樹

一、住宅に関する補助制度について

問 当町は、若い世代の定住に向けた住宅取得に関する補助制度が充実しているが、他自治体に比べ、民間企業の手による開発事例が少ないうように感じる。住宅施策をより一層進めたいためにも、民間企業が参入しやすくなるような補助制度とするとともに、住宅に対する補助施策のより一層の拡充を図る必要があると考えるが、どのようにお考えか伺う。

答 町長 現在、若い世代を中心とした定住を促進するための分譲地の造成に着手するとともに、定住施策のさらなる強化を図るため、既存の補助制度の検証を行い、拡充に向けた検討を進めているところであります。制度拡充を開始する時期については、令和7年度中に予定をしている宅地の分譲開始に合わせて実施していきたいと考えております。

民間企業の参入促進については、これまでも企業との意見交換等を複数回行っています。今後、実現に至っていないのが現状であります。今後も引き続き協議を重ねながら、民間企業が参入できるような支援制度の設計・構築に努めます。

問 当町の住宅取得に対する補助金のメニューは大変充実しているが、現在、国の補助

金との併用はできない事になっている。なぜ町と国の補助金の併用ができないのか。また今後、定住促進のためにも併用を可能にする必要があると考えるが、どのようにお考えか伺う。

答 町長 町の補助事業は平成29年度の見直しを最後に8年間継続しており、財源として国費や県費といった特定財源を有効に活用しております。このことから、国と町の補助事業には、ともに国費が充当されており、国費の二重受給の防止を図る観点から、併用を不可としたところでありますが、制度の拡充に合わせて今後検討してまいりたいと考えております。

問 高気密高断熱の省エネ住宅にリフォームするための町独自の補助制度は現在ないが、6月に当町は「ゼロカーボンシティ宣言」をされた。省エネ対策という意味でも住宅の性能を上げるためのリフォームに対する町独自の補助制度が必要と考えるが、どのようにお考えか伺う。

答 町長 現在、ゼロカーボン実現のために全庁を挙げて、今後の環境政策について調査・研究をしているところであります。省エネ住宅にかかる町独自の制度についても、前向きに検討してまいります。今後、人口減少に歯止めをかけるため、住宅取得などに対する支援の拡充など、さらに強化を図ってまいります。



《一般質問》



山本徹郎

一、岩倉町長の進退について

問 岩倉町長は初代町長増澤町政では総務課長、2代目町長川野町政時代には副町長、平成29年2月から町長に就任し、2期・約8年、数々の功績を残された。

しかし、本町の重要課題である人口減少問題・少子高齢化など、消滅可能性自治体と公表されていることは大変危惧するところであり、解決の糸口さえ見えていない状況である。

課題が山積している町ではあるが、3期目を目指されるのか伺う。

答 町長 平成29年2月に町長に就任して以降、早いもので7年半が経過しました。その間、南越前町の町長として重責を痛感しながら町政発展の為に、全身全霊をかけて誠心誠意努力してまいりました。様々な政策の実現や課題の解決、災害からの復興は、おおむね順調に推移をいたしており



ます。これらの事業推進にあたり、議員の皆様方をはじめ、町民の皆様方の温かいご理解とご協力、また国、県、関係機関の皆様方のご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

一方、人口減少、少子高齢化、災害の激甚化など、南越前町を取り巻く課題が尽きない現状もあります。

また令和7年1月1日には、南越前町誕生から20周年を迎えることから、これを契機として更なる町政発展に繋げていくことが重要と考えております。南越前町が「これから住み続けたいまち」また「住んでみたいまち」となるよう皆様のご意見をいただきながら、私自身の進退について熟慮を重ねているところであり、今後、しかるべき時期に明らかにしてまいりたいと思っております。



【10月臨時会議決結果】

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第93号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度南越前町一般会計補正予算（第7号））	令和6年10月18日	原案承認
議案第94号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度南越前町国民健康保険特別会計補正予算（第2号））	令和6年10月18日	原案承認
議案第95号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度南越前町農業者労働災害共済特別会計補正予算（第1号））	令和6年10月18日	原案承認
議案第96号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度南越前町介護保険特別会計補正予算（第2号））	令和6年10月18日	原案承認
議案第97号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度南越前町下水道事業会計補正予算（第2号））	令和6年10月18日	原案承認
議案第98号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度南越前町一般会計補正予算（第8号））	令和6年10月18日	原案承認
議案第99号	工事請負契約の締結について	令和6年10月18日	原案可決
議案第100号	財産の取得について（追認）	令和6年10月18日	原案可決

10月臨時会報告

10月18日に10月臨時会が開催され、令和6年度南越前町一般会計及び特別会計補正予算の専決処分の承認を求める6議案に、工事請負契約の締結についてなどの2議案を併せた合計8議案を上程し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

風力発電所行政視察報告

自然保護並びに 環境保全対策特別委員会

委員長 加藤 伊平

全議員で構成する自然保護並びに環境保全対策特別委員会は、町内鉢伏山で計画されている風力発電所の審議の参考にするため10月8日、三重県津市、伊賀市にまたがる中部電力の風力発電所を視察しました。

現地の標高は高いところで800m、起伏の少ない高原の国定公園内で、年間20万人近い観光



風力発電所視察の様子

入り込み客があるとのこと。鉢伏山は標高761.8mで山峰沿いに計画されており、標高は近いが地形は異なります。

風力発電所の風車は1基発電量750kw、ブレード(羽根)直径50.5m、タワー高さ50mのものから、発電量2,000kw、直径83.3m、高さ65mのものまで、4グループ計91基あるとのこと。750kwのものは建設から20年経っており、2,000kwのものに置き換えるため基礎から工事中でありました。

敷地の民地は地主の要望により借地しているとのこと、人家から離れているため20年間大きな事故もなく、住民とのトラブルもないとのこと。

騒音、振動、低周波音を体験するため、直径80mのブレードの発電機の60m真下へ入りました。風車の風を切る音は80デシベルということでしたが、特に不快な感じはありませんでした。

さらに建設年が古いものの下へも入りましたが、音は前のものより若干大きいぐらいでした。その後、この発電機から約3km離れた場所でも音を聞きましたが、ほと



巨大な風車

んど聞こえませんでした。騒音は気象条件や地形、個人によって、感じ方が異なるため注意が必要です。

今後は、今回の視察をもとに、委員会で慎重に審議していきます。



中部電力職員の方からの説明

杉本知事と意見交換会 を開催いたしました！

10月15日南越前町役場3階第1委員会室で杉本福井県知事と意見交換会を開催いたしました。

初めに杉本知事から県政の状況についてお話がありました。

一、大雨災害の鹿藪川・輪中堤の現場を視察し、地元と話し合いながら着実に事業を進めていくこと

一、新幹線効果を最大限にするため、目的地为福井県や南越前町にしてもらう観光キャンペーンを活性化していること

一、道の駅「海山里」が3年で380万人の来場客があり全国ランキングが3番目であること
一、「中村家住宅」にも注目していること

一、福井県の幸福度ランキング1位の維持と、徐々に上がってきている「幸せ実感」の向上にも努めていることとあわせて「子育て支援・高校授業料の無償化」に取り組み「ふく育県」の内容充実にも努めていること

一、新幹線の敦賀から先のルート



杉本知事との意見交換会

についても年内に三ルートの中から一ルートに決定頂くことで来年度中に認可着工を目指す予算をつけていただくことが大事と考えていることの説明がありました。

南越前町議会としては、多くの重要事項の中から特に必要と考えるものを選び、2つの常任委員会、3つの特別委員会の各委員長が質問いたしました。

一、国道365号「栃ノ木峠」道路トンネルの早期事業化に向けて、高橋産業建設常任委員長が質問いたしました。

回答 滋賀県側の理解を得ること

が難しかったが、なんとか理解をしていただけたことで国の理解も取りつけ、直轄調査が行われることになった。来月、国土交通省に行き要請を行う予定である。また、大谷防災も進めていただけるとお聴きしている。

二、有害鳥獣対策の具体策について加藤自然保護並びに環境保全対策特別委員長が質問いたしました。

回答 被害額も少しずつ増えている実態にあり、市や町の境を越える部分について、県も参加して取組むことが効果的と考えているので、相談していただき知恵を出し合いたいと考えている。

三、多様な児童生徒が共に学ぶ環境の実現について、山本徹総務文教厚生常任委員長が質問いたしました。

回答 南越前町は多様な児童生徒に対する教育に力を入れていただいていることは存じ上げている。県も柔軟に対応しているところではあり、来年度についても市や町からの情報をお聞きし必要などころに追加を計画する予定である。



杉本知事との意見交換会

四、ハピラインの利便性向上について坪川新幹線・在来線対策特別委員長が質問いたしました。

回答 今庄の駅舎の改修については国もいれて相談をさせていただいているところである。駅舎改修に補助金を出している県は福井県しかないが、条件は乗降者を増やす取組みを考慮することとなる。

ICOCAの使用条件については努力しているが、もう少し時間をいただきたい。

五、原子力行政の現状について大浦原子力安全対策特別委員長が質問いたしました。



議場にて

回答 今後の電力消費は生成AIの活用が進むことで増加すると言われていている。安全を確保しながら使用せざるを得ない状況であると思っている。避難については能登半島の被害状況を確認し、広域避難計画の見直しを県として検証しながら国にも強く求めていく。

その後の時間は自由発言とし、杉本知事との活発な意見交換をすることができました。この機会は南越前町議会にとって貴重な時間となりました。

南越前町議会の 主な活動報告

- **8月24日** 福井県戦没者追悼式がサンドーム福井で開催され、議長が出席
- **9月8日** 越前地区防犯隊連絡会秋季錬成大会が今立体育センターで開催され、議長が出席
- **9月15日** 街道浪漫・今庄宿2024が今庄宿一帯で開催され、正副議長ほか議員3名が出席
- **9月15日** 河野地区体育祭が河野小学校で開催され、大浦議員が出席
- **9月19日** 河野地区敬老会が河野住民センターで開催され、議長が出席
- **9月19日** 岸田総理講演会が福井商工会議所で開催され、議長が出席
- **9月21日** 宮本俊氏の福井県議会議長就任祝賀会が武生商工館で開催され、正副議長ほか議員7名が出席
- **9月25日** 町村議会広報研修会がニッショーホールで開催され、議会広報特別正副委員長が出席
- **9月26日** 今庄地区敬老会が今

庄住民センターで開催され、議長が出席



今庄地区敬老会

- **9月27日** 福井県町村議会議長会議長・副議長研修会が福井県自治会館で開催され正副議長が出席
- **9月29日** 堺地区町民体育大会が大門山村広場で開催され、坪川議員が出席
- **9月30日**、**10月2日** 福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会六ヶ所村研修会が日本原燃(株)で開催され、議長が出席
- **10月3日** 南条地区敬老会が南越前文化会館で開催され、議長が出席
- **10月3日** 南越清掃組合議会定例会が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席

● **10月3日** 南越消防組合議会定例会が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席

● **10月4日** 第73回2024たけふ菊人形が越前市武生中央公園で開催され、議長が出席

● **10月4日** 嶺北町村議会議長会議員研修会が越前町役場で開催され、全議員が出席



嶺北町村議会議長会議員研修会

- **10月5日** 南越前町合併20周年記念式典が南越前文化会館で開催され、全議員が出席
- **10月6日** 今庄地区体育大会が今庄グラウンドで開催され、議員2名が出席
- **10月8日** 自然保護並びに環境保全対策特別委員会行政視察を三重県津市で実施し、全議員が出席
- **10月9日** 南越前町戦没者追悼

式が南越前文化会館で開催され、全議員が出席



戦没者追悼式

- **10月10日** 公立丹南病院組合議会行政視察が京都府・滋賀県で実施され、副議長ほか組合議員2名が出席
- **10月12日** 今庄小学校体育大会が今庄小学校で開催され、副議長ほか議員4名が出席
- **10月12日** 南越前町新ご当地グール完成披露会が道の駅南越前山海里で開催され、正副議長が出席
- **10月12日** 越前町合併20周年記念式典が越前町生涯学習センターで開催され、議長が出席
- **10月15日** 杉本知事との意見交換会が南越前町役場で開催され、全議員が出席



新ご当地グルメ完成披露会

- 10月16日～17日 福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会中央要請及び研修会が参議院議員会館で開催され、議長が出席
- 10月19日 全国育樹祭懇談会がコートヤード・バイ・マリオット福井で実施され、議長が出席
- 10月20日 全国育樹祭典がサードーム福井で実施され、正副議長ほか8名が出席
- 10月22日 町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修がLINE CUBE SHIBUYAで開催され、喜村監査委員が出席
- 10月25日 丹南地区市町議会議長会議員研修会がJA越前たけふ農協会館で開催され、正副議長ほか議員9名が出席



丹南地区市町議会議長会議員研修会

- 10月28日 第45回森林・林業・木材産業活性化大会が福井商工会議所で開催され、議長が出席
- 10月29日 市町議会議員合同研修会が福井県自治会館で開催され、全議員が出席



市町議会議員合同研修会

- 10月31日～11月1日 福井県丹南広域組合議会行政視察が富山県で実施され、議長ほか組合議員2名が出席
- 11月9日 福井県交通安全母の会連合会丹南ブロックが南条保健福祉センターで開催され、議長が出席
- 11月12日 県選出国會議員への要望活動が衆議院議員会館で実施され、議長が出席
- 11月13日 嶺北町村議会議長会調査・研究会がふくい南青山291で開催され、議長が出席
- 11月13日 第68回町村議会議長全国大会がNHKホールで開催され、議長が出席
- 11月14日 北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進総決起大会がザ・キャピトルホテル東急で開催され、議長が出席
- 11月19日 県道帆山王子保停車場線・中小屋武生線改修促進期成同盟会総会が越前市役所で開催され、正副議長、産業建設常任委員長ほか議員1名が出席
- 11月20～21日 総務文教厚生常任委員会行政視察が富山県で実施され、議長、総務文教厚生常任正副委員長ほか議員3名が参加

- 11月20～21日 産業建設常任委員会行政視察が岐阜県で実施され、副議長、産業建設常任正副委員長ほか議員3名が参加
- 11月22日 後期高齢者医療広域連合議会定例会が福井県自治会館で開催され、議長が出席
- 11月25日 南越消防組合議会議長が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席
- 11月25日 南越清掃組合議会議長が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席

【9月から11月の主な会合】
全員協議会

- 9月6日、13日、10月18日 議会運営委員会
- 8月28日、11月5日 広報特別委員会
- 9月30日、10月28日、11月11日





南越前町今庄観光

ボランティアガイド協会

会長 高谷皓之

「おもてなしの心」と
地域の誇れる「宝」を
地域の人達と共有すること
を、スローガンとして活動して
います。

私たちの会はお陰様で昨年、創立25周年を迎えることが出来ました。それには諸団体の皆様のご指導や、ご助言、何よりも地域の皆様のご支援がなければ今の私たちは無かったかと思えます。私たちが住んでいる今庄は「宝」でいっぱいです。先人たちが残された歴史や文化遺産、そして育まれた風土がしっかりと色濃く残され、引き継がれています。そのような素晴らしい地域の中で、微力ではありますが現在、私たちの会は13名のメンバーで頑張っています。その実践活動の一つに今庄宿のガイドと旧北陸線トンネル群のガイドがあります。

今庄宿は令和3年「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、日本遺産「海を越えた鉄道〜世界へつながる 鉄路のキセキ〜」と共に、観光案内の研鑽に努めています。

私は今庄宿のキーワードは「峠」にあると思います。今庄は万葉の時代から越の国の玄関口として交通の要所であります。古くは山中峠（万葉の道）・中世は木ノ芽峠（北陸道）・近世に入り栃ノ木峠（北国街道）があり、このすべての街道が今庄宿に集まり、一本の道となつて湯尾峠を越えて府中につながるのです。宿場の入口には旅人の心を癒す「文政の道しるべ」が行んでいます。



文政の道しるべ

私は、今庄宿に訪れた人たちにガイドをしていますと、峠を歩き通う人々や、ものの行き来の中から歴史や文化・風土が生まれてくるのだと思うと、当時の様子が手に取るように浮かんできます。本当にこのような時、ガイド冥利につきる思いがします。

もう一つは令和2年に日本遺産に認定されました「海を越えた鉄道〜世界へつながる 鉄路のキセキ〜」であります。

日本の鉄道の夜明けを駆け抜けた歴史を物語る「国鉄のまち今庄」の鉄道遺産の「宝」です。現在、長浜市、敦賀市、南越前町の二市一町をつなぐ重要路線として活躍した広域的な歴史的文化遗产であります。私たちは明治29年に建造された11個のトンネルを案内しています。お客様とトンネルを歩きながら、また、時にはSLバスに同乗し、明治時代に日本人の技術力で掘り抜いたトンネルをタイムスリップしながら、思いを込めて案内をしています。また、この



SLバス

たび新たに山中トンネルや山中信号所のスイッチバックなど、当時活躍したD51形蒸気機関車の雄姿をAR（拡張現実）で紹介しています。

さて、念願の新幹線も開業し、私たちの周りは大きく変わろうとしています。ですが、これからも「おもてなしの心」を忘れずに語り継いでいきたいものです。

編集後記

今年1月の能登半島地震後の強い復興が行われていた中で、9月の大雨により能登地方は山や田畑が埋まり、土砂崩れによる家屋倒壊や河川氾濫などにより、また多くの方々が被災され、犠牲にもなりました。

1年の間に二度も被災されたことに心が痛みます。ここに哀悼の意を表し、お見舞いとお悔やみを申しあげますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。さて、9月の終わりまで真夏日でしたが、10月に入ると朝晩の気温が下がり、過ごしやすくなりました。しかし近年異常気象が多くなっており、今年の冬はラニーニャ現象の影響により、日本列島上空で寒気が強まりやすく、大雪になる可能性が高まるようです。十分に心しておきましょう。（谷口）